

社会福祉法人塩釜市社会福祉協議会  
令和元年度第2回小規模多機能型居宅介護松ぼっくり運営推進会議  
議事録

1. 日 時 令和元年7月26日（金曜日）  
開会 午後6時～ 閉会 午後7時01分
2. 場 所 小規模多機能型居宅介護松ぼっくり
3. 出席者 畑中敬一 三上長治 永野やすえ 中村成子  
（委員総数5名中4名出席）
- 松ぼっくり  
早坂所長 加藤主任 柴田圭介
- 社会福祉協議会  
山本次長 曾根課長
- 欠席者 櫻井實

## 1.開 会

## 2.あいさつ 山本次長

## 3.協 議 （要旨）

### ①利用者動向 （加藤主任）

- ・ 現在22名登録。女性17名、男性5名。
- ・ 要支援1 2名 要支援2 0名 要介護1 6名  
要介護2 3名 要介護3 6名 要介護4 2名  
要介護5 3名 平均介護度2.65
- ・ 問い合わせ・相談・見学は3件。通所の利用者が多く、受け入れ困難。訪問、宿泊なら可。
- ・ 7/4、男性利用者1名、こころの樹入所。平成29年8月より利用開始、あさひ園から在宅へ戻って利用されていた。
- ・ 7/9～、女性1名利用開始。月～土と通所、昨日は初めての宿泊。老夫婦2人暮らしだったが、ご主人が死去。

## ②行事・今後の予定（加藤主任）

- ・利用者誕生会、7月4名、8月1名。
- ・7/4、家族介護者リフレッシュ交流会へ利用者家族2名が参加。「気分転換になった」との声。
- ・7/8、塩釜消防署の立ち入り検査及び消防訓練実施。水消火器を使った消火訓練を行った。次回は11月を予定。
- ・7/31～8/1、夏休みボランティア体験学習として各日2名の学生を受け入れた。
- ・8/10、松ぼっくり夏祭りを開催する。新進会一座による演芸披露が予定されている。

## ③その他

- ・8/31付、加藤主任が結婚の為退職。震災の年の2月に入職、当時は資格もなかった。この職の前は競走馬の厩務員をしていた。
- ・7/22～、職員1名配置。（本人があいさつをした）
- ・車椅子対応の送迎車両がリフト不調。利用者に乗せたまま動かなくなった。故障した場合、代車としてないタイプで対応に苦慮する。
- ・脱衣場付近よりシロアリが発生。業者による駆除を行った。壁に穴を開け薬剤を注入。来年、別の場所から発生するかもしれない。
- ・玄関前のブドウが実ってきた。ハクビシンによる食害が心配。

## （永野委員）

松陽台は山なので、シロアリやハクビシンが現れる。家では仏壇にシロアリが発生し底が抜けるような状態になった。業者が年1で点検している。

## （山本次長）

家族介護者リフレッシュ交流会については、以前、社協介護事業所利用者の家族を対象としていたが、一昨年より共同募金の分配金を使い、市内在住の方を対象を拡げた。講師を招いて介護への助言や体験談を話してもらっている。また、食事をしながら介護者同士の交流を図ってもらっている。何気ない話が交流を深め、時間が足りないと言われるほど盛り上がっていた。今後も継続して開催したいと考えている。

## （永野委員）

何名の参加があったのか？

(山本次長)

今回は 21 名の参加があった。

(畑中委員)

それは広報で募集した数字か？

(山本次長)

民生委員へ呼びかけの協力を依頼した。

(永野委員)

3名に声をかけてみたが、日程が合わなかった。また、帰宅する時間もネックとなっていた。

(山本次長)

松ぼっくりのような施設を利用して、その間の交流会なので上手く合わない場合が多い。

(永野委員)

年に 2 回の実施であれば、別な曜日など配慮していただきたい。

(山本次長)

もっと早いタイミングでの告知をすれば良かったと思う。

(畑中委員)

早く呼びかけをするのであれば、町内会の広報を 2 ヶ月に 1 度発行している。そのようなアプローチもある。また、町内会の文化部を通した告知もできる。

(畑中委員)

8/3、町内会の盆踊りを予定。42 回目である。「高齢者に優しい町内会」をスローガンとしており、高齢者に楽しんでもらうため、仮装大会を実施する。7 団体が参加予定であり、熱心に取り組んでいるようだ。是非、足を運んで欲しい。「隣の人が分からない」という住民もいる中、盆踊りを通して、顔見知りになってもらいたいという願いを込めて開催する。祭りは 5 時から。仮装大会が町内で噂になっているだけで嬉しい。

(山本次長)

活発な活動をされているようだ。昨日、ある町内会の方と話をした中で、「騒音への苦情が多く、盆踊りができなくなった」と聞かされた。

(永野委員)

町内会の一番の自慢は「お助け隊」。ちょっと困った時、台風が来た時、高齢者世帯を回ってくれる。ありがたい。

(畑中委員)

皆さんが素敵だからやらざるを得ない。

(永野委員)

台風でトタンが飛んだ家があった。家主は大変ことと認識しておらず、お助け隊の支援を勧め、奥様が電話をした。その際、ちょっと本音が出た。「長くここに住むつもりはない」と。「応急的な修理でいい」とお助け隊に言うよう助言した。

(畑中委員)

一方、仕組みが熟成する過程で新たな問題も生まれてくる。ゴミステーションまでごみを出す支援を始めた家で、最初は感謝されていたが、だんだんやってくれるのが当たり前になってきた。手伝いする側は、義務感という負担になってしまった。簡単な枝払いもしている。その依頼者が金銭を渡そうとする問題があり、どのようにしていいか検討しなければならない。

(永野委員)

家に若い家族がいて出来るのにたのむ人も出てきた。介護保険で対応できない場面に限るなど、線引きの仕方を検討すべき。

(畑中委員)

セーフティネットからこぼれてしまう層がいる。あるいは、制度に乗ることまでもない人を対象にする方針でスタートした。

(永野委員)

やればやるだけおんぶする人がいる。難しい。

(畑中委員)

隊員も高齢化が進み、いつまでできるか分からない。

(三上委員)

高齢者へ今年も長寿手ぬぐいを配布する。ここの利用者同様、地域の高齢化が進んでいると感じる。でも、元気な80歳台が多い。毎年、配布対象を狭めているが、それでも配布対象者が増えている。松陽台は特にだ。担当地区で210名。永野委員の地区も同様。新聞をみると振り込め

詐欺のニュースが多い。自宅にもそれらしい電話が来た。非通知。他の委員宅には電話が来ていないか？

(畑中委員)

お金があると思われているのでは？

(永野委員)

ラジオで、「大郷町に不審電話が来ているので気をつけて」と呼びかけをしていた。

(三上委員)

大々的に注意喚起をしても引っかかる。自分は引っかかると思っていないのだろう。私自身も気をつけなければいけない。官公庁を名乗られると真に受けてしまう。また、年を取ると欲が出るもの。

(永野委員)

昨夜、ラジオを聴いていたら元北浜保育園園長が出て、イベントの告知をしていた。また、朝のテレビで山寺宏一が出演し、塩釜神社の鳩の鳴き真似をしていた。塩釜の観光大使になりたいと言っていた。ぜひ、社会福祉大会に呼んで欲しい。

(永野委員)

100歳になる母親が乳がんで、腫瘍がだんだん大きくなってきた。先日、社協で無料貸し出ししている車椅子対応型軽自動車坂病院を受診した。先生は「手術をするかどうかは本人の意思」とのこと、本人に聞いたら「100歳まで生きて儲けもの。今更しない」と言った。家族としては今後のケアを考えると複雑だ。手術をしても10日で退院できるとのこと、次の受診までに結論を出す。「退院後は施設を・・・」と言う先生に「先生ならどうする？」と質問した。「外科医なのです」とのこと。「ところであなたは嫁？娘？」と聞かれ、「立派な鬼嫁です」と答えたら雰囲気が変わり、隣の先生にも意見を求めてくれた。家庭にはそれぞれの事情がある。民生委員をしているので尚更分かる。支援の必要な方を訪問した時、「ずっと前に娘を亡くした」と打ち明けられた。

(畑中委員)

寄付された車椅子があるので使用してもいい。集会所にある。

(永野委員)

車椅子はレンタルしている。集会所にあるのはいいことだ。社協で車椅

子のまま乗れる車両の貸し出しを始めた。

(中村委員)

春に異動で今の部署にきた。初めての福祉で、勉強不足を感じる。さまざまな福祉用具や介護事業、知らないことって一番怖いと思った。必要になったら調べれば十分なのかもしれないが、福祉器具などは日進月歩だ。市内にたくさん介護を必要としている方がいる。大変な状況に家族が直面している。困っている方には情報提供をしなければならないと思っているところ。

(永野委員)

利用者の O さんの状況はどうか？

(早坂所長)

継続して利用している。

次回 9月27日(金) 18:00～